

# NMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.113  
2023年7月号  
TAKE FREE

ご自由に  
お取り下さい



写真:新型コロナワクチン大規模接種関係者への感謝状贈呈式(長谷川院長と大村愛知県知事(右)=令和5年4月25日、県庁で)

■ 巻頭言	新任のご挨拶 看護部長 太田郁子	2p
■ ドクターよもやま話	私の読書 泌尿器科医長 吉野 能	3p
■ 職場紹介	リハビリテーション科/東4階病棟	4p
■ トピックス	血管撮影装置の更新 臨床工学部長 山田高彰	5p
■ 医療最前線	地域で診る乳がん診療 乳腺外科 林 孝子	6p
■ 連携医療機関紹介	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック名駅	7p

■ 発行責任者: 広報委員長 近藤隆久

■ 電話番号: TEL.052-951-1111(代表) FAX.052-951-0664

■ 発行日: 令和5年7月1日

■ 発行所: 〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1

■ 名古屋医療センターホームページ: <https://www.nnh.go.jp/>



【お詫びと訂正】「NMC News No.112」の掲載内容の誤りについて

5月1日に発行しました「NMC News No.112」につきまして、内容の一部に誤りがございました。

関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、次のおり訂正させていただきます。

『もくじ』 【誤】医療法人社団 青楓会 北名古屋クリニック …… 7p → 【正】はやしクリニック …… 7p

# 巻頭言

太田郁子

看護部長

## 新任のご挨拶

令和5年4月1日付、三重中央医療センターより看護部長として赴任しました。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

当院は、目の前に名古屋城や歴史的建造物の県庁・市役所があり、地下鉄の出入り口は敷地のすぐ隣、便利で絶好のロケーションです。私は国立名古屋病院附属名古屋看護助産学校の学生として、卒業後は当院の職員として「市役所」駅を利用しておりました。嬉しいことがあった日も、悲しいことがあった日も、改札に続く階段を「今日も頑張ろう」と思いながら、昇降したものです。幾度かの異動で当院を離れ、気づけばホームに続く階段には名古屋城が描かれ、下から見ると皆がお城を昇り降りするように見えます。また、約半年前に駅名が「市役所」から「名古屋城」に変更され、私は「名古屋城」という言葉の響きや漢字が表す華やかさに心躍る一方で、昔から何度も利用した駅名が変わってしまい、思い出の場所を失うような寂しさを覚えました。しかし、4月の辞令交付式で長谷川院長が「ここは外堀と内堀の間にあり、住所は三の丸。名古屋城のお堀の中で医療ができる数少ない病院」と話されているのを聞いて、昔であれば戦国武将や兵士、城下町の民の看護をしていたのかもしれない。その頃看護師がいたらどんな看護をしていただろうかと想像し、寂しさは吹っ飛び気持ちが高揚しました。

日本における看護の歴史は、鎌倉時代以前から僧侶によって看病がなされ、仏教において看病は慈悲心の最高最善の発露として重要視されていた<sup>1)</sup>とあります。時代の流れと共に、その役割は変化し、医療と並走するように現代の看護が確立されましたが、目に手をかざしてよく見る、「手」と「目」で護る看護には看病の慈悲心が宿っていると思います。看護学生の頃、ある講師が何度も「看護は愛なり、愛と実践の科学なり」とおっしゃいました。確かに看護とは慈悲心や愛に加え、科学的根拠・思考が伴うケア行動であると思います。当院へは地域住民のみならず、県内外から医療を求めて患者さまがいらっしゃいます。このお堀の中で、皆様に愛と実践の科学が届けられますよう、職員共々前進して参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

〈引用・参考文献〉

- 1) 関谷由香里：日本における仏教看護の歴史—看護の歴史的研究(その1)—, Japanese Red Cross Hiroshilna Coll. Nurs. 3 77~ 85.
- 2) 茂野 香おる他：系統看護学講座—専門分野看護学概論, 医学書院, 2020



内堀 (令和5年4月)



# ドクター よもやま話



吉野 能  
泌尿器科医長

## 私の 読書

みなさん、こんにちは。慌ただしい毎日の中で、読書の時間は気持ちを落ち着けることができるひと時ですね。

私のように特定の宗教を信仰せず、代々ご先祖を仏式でお祀りし、家に神棚を飾り神社にお参りする者にとっては、聖書はこれまでまったく「取っつきにくい」書物でした。

数年前のあるとき、偶然聖書に触れる機会を得て、その預言解釈による世界情勢、医療の方向性の読み解き方を知るにつれて、以来宗教とは全く無関係に聖書を愛読するようになりました。

古代の人々の人体構造の理解、生命や病気への考え方、衣食住など環境への対応を知る古典資料として、島国日本からは想像もできない侵略、迫害、繁栄、滅亡を繰り返した古代中東、ヨーロッパ情勢を現代に伝える歴史書として、

「聖書＝キリスト教の経典」という思い込みや先入観を外して読んでみたとき、自分の中で新たな発見があったというわけです。また、古代賢人の言葉は、自分が進む方向に迷ったとき、考えを誤ったときに、自己吟味、自己修正能力を引き出してくれる自分以外の価値判断基準にもなってくれます。

有史以来世界で最も多く読まれ、気の遠くなるような年月にわたって写本によって後世に残すべき教訓として現代に伝えられた聖書は、日本の神道とも密接に関係しているともいわれ、自分の国を知り国際的な相互理解を得るためにはぜひ知っておきたい書物ではないでしょうか。

私にとって、日頃から生活や医療実践の心構えを見つめ直すために、常に座右に置いてある一冊になっています。



## リハビリテーション科

我々は医師の処方のもとリハビリテーションが必要と考えられる状態の方に、身体機能面だけでなくお食事の飲み込みやコミュニケーション能力を含む、日常生活/社会生活活動へ早期に戻るよう、機能低下予防や機能回復のお手伝いをさせて頂いております。

現在、理学療法士24名、作業療法士11名、言語聴覚士14名を病棟チーム型リハビリテーションとして病棟各科の機能に合わせて専任配置し、専門性をもってチーム医療に貢献しています。コロナ禍では感染が拡大しないよう更に病棟を絞り対応するとともに、令和4年度は495名の新型コロナ患者さんのリハビリテーションを実施しました。

これからも医療安全、感染対策に十分対応しながら、医師、看護師をはじめ関係職員とチーム医療を行うことで、患者さんやご家族に満足して頂けるリハビリテーション医療を提供していくよう努力してまいります。



## 東4階病棟

東4階病棟は、産婦人科、乳腺外科、眼科、耳鼻科、歯科口腔外科を主科とする女性混合病棟です。また、主科以外の診療科も積極的に受け入れ検査入院、手術や化学療法、緩和ケアなど幅広い看護を実践しています。

産科では安心・安全に産前産後を過ごして頂けるように患者様のニーズに合わせた出産・育児のサポートを行っています。特に産前は、病棟の助産師が妊婦健診につき外来通院中から関わらせていただき安心して出産を迎えられるよう体制を整えています。産後ケアでは心身ともに不安定な時期を支えるため当院での出産の有無にかかわらず保健センターと連携し幅広く対応しています。

当病棟は出産という生を受ける場である一方、婦人科疾患、乳腺外科では女性としての喪失感を感じる患者様をケアする場でもあります。周術期、治療期、終末期などそれぞれの時期にある患者様・ご家族との対話を大切にして、その思いに寄り添うとともに多職種と連携して患者様の「生活の質」が向上できるよう努めています。



## 血管撮影装置の更新

臨床工学部長 山田高彰 |

当院の2台の血管撮影装置のうち1台が更新の時期を迎え、新しい装置への移行までのこの半年間、関係者の皆様には患者様に不便のないよう計画を進めていただき、無事にここまで来られた事に対して、まず感謝申し上げます。

血管撮影装置とは、カテーテルという細い管を動脈、静脈に挿入し造影剤を使った血管の検査、診断、治療を行う装置の事です。当院で主にこの業務に携わるのは医師（循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、消化器内科、救急集中治療科）、担当看護師、臨床工学士、放射線技師といった様々な分野のスタッフが皆で協力しこの業務に当たっています。

今回、更新となる血管撮影装置は主に循環器の分野において活躍が期待されています。冠動脈や下肢動脈の造影検査によって動脈の狭窄や閉塞等の異常を発見しバルーンカテーテル、ステントカテーテルで狭心症や心筋梗塞の治療を行う血行再建術や下肢静脈血栓による肺動脈血栓塞栓症予防の為、下大静脈フィルターを留置

する手技等に利用されます。また不整脈分野においては、電極カテーテルを用いて異常電流の発生部位を特定しその部位に対して高周波電流を流し正常な心臓のリズムに戻すカテーテルアブレーションという治療も最近多くなってきています。これまで手術室で行ってきたペースメーカー手術もこの新しい血管撮影装置のある血管造影室で施行する事も検討しています。

循環器分野だけでなく、脳血管分野においても別の血管撮影装置を使って、カテーテルによる脳血管造影、脳血管血栓回収術、脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈ステント留置術など行われています。また消化器分野においては、カテーテルによる腫瘍や血管の病気（狭窄・閉塞）の診断、腫瘍の栄養血管を詰める経カテーテル塞栓術や、救急集中治療科による、透視下での緊急の止血治療など、血管撮影装置の果たす役割は今後も増すばかりです。

いよいよ7月から新しい血管撮影装置が本格稼働します。我々スタッフ一同、患者様に安全かつより最適な医療を提供していきたいと思えます。



# 医療最前線



林 孝子  
乳腺外科

## 地域で診る乳がん診療

乳がんは女性のがんの中で最も罹患数が多く、特に40～60代後半の罹患率は高くなります。

いわゆる壮年期の働き盛りの年代に罹患率が高い事から、患者本人のみならず家族や社会への影響も大きい疾患と言えます。乳がん罹患することにより離職せざるを得なくなり生活が立ち行かなくなるケースもあります。患者さんの離職を防ぐ就労支援なども我々医療者の重要なトピックとなっております。

そこで、専門的ながん医療を担う病院と地域のかかりつけ医が連携し、患者さんが地域において質の高いがん治療を切れ目なく受けられるよう、「がん地域連携パス」の運用に取り組んでいます。

クリニカルパス：「現在、最適と思われる予定表」クリアすべき目標（アウトカム）を設定し「連携医と病院が協力し、パスに沿った最適な医療が提供できる」を使用します。地域連携パス（共通の書式）を用いて、連携医は他疾患に対する日常臨床+がんに関する診療を担うことにより患者さんの病院への受診回数を減らし、不必要に仕事を休むことなく、通院時間の短縮、自己負担金軽減、待ち時間の緩和などの効果を期待するものです。

連携医になることにより病院での治療内容が把握でき患者さんからの信頼の強化、急変時など困られた時はより密接な連携体制がとれるなどメリットがあげられます。また診療報酬は、がん治療連携指導料が診療情報提供時に300点で、月1回繰り返し可です。

乳がんの術後診療は晩期再発が起こりうることから10年間継続するのが標準となっております。一方、共働き世代の乳癌患者さんからは仕

事をあまり休めない、病院での待ち時間が長く負担など不満も多く聞かれます。それを解消するのがこの「がん地域連携パス」ではないかと思えます。乳癌患者さんが離職することなく、10年間乳癌診療を安心して続けていくためには連携医様と協力し、地域で診るがん診療という形で患者さんの利便性と安心感を高められるものと考えております。

がん地域連携パスは国が「地域で診るがん診療の充実を図る」目的で考えられたもので連携医様の診療報酬に十分配慮された施策であるといえます。

今後、乳房に訴えのある患者様が見えましたら当院にお気軽にご紹介いただきたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

**がん地域連携パスのご案内**

名古屋医療センターでは、専門的ながん医療を担う当院と地域のかかりつけ医が連携し、患者さんが地域において質の高いがん治療を受けられるよう、「がん地域連携パス」の運用に取り組んでいます。

**診療情報を共有**

名古屋医療センター (担当医) と かかりつけ医 (連携医) が連携し、患者さんが地域において質の高いがん治療を受けられるよう、「がん地域連携パス」の運用に取り組んでいます。

**がん地域連携パスとは**

当院で手術や必要などの治療を受けた後、お近くのかかりつけ医と当院の医師とが連携し、標準治療の継続と日々の健康管理をスムーズに行っていくための仕組みが、「がん地域連携パス」です。患者さんご自身と、かかりつけ医、当院医師の3者が、今後の治療や診療計画、通院スケジュールなどを指し示した冊子（パス）を活用し、診療情報の共有をはかり、安心したがん治療の継続を提供するものです。

※がん地域連携パスご利用の場合、「がん治療連携計画書」750点を算定いたします。

**～パスのメリット～**

- 当院への頻繁な通院が不要となり、通院の不便さや外来での長い待ち時間から解放されます。
- 当院医師とかかりつけ医の複数の医師によるサポートも受けられます。

**～対象となる方～**

当院で乳がんの手術を行い、抗がん剤治療などの術後治療が終了した患者さんです。  
(ホルモン治療のみの方も含まれます)

かかりつけ医をお持ちでない場合は、当院からご紹介することも可能です。ご自宅からの距離や診療料なども考慮し、患者さんにご相談しながらかかりつけ医を決定しますので、お気軽に主治医にお尋ねください。

お問い合わせ先  
名古屋医療センター 相談支援センター  
052-951-1111 (代表)

## 連携医療機関紹介



### 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック名駅



副院長  
安里 龍一

私たち総合在宅医療クリニックは、2009年に岐阜で始まりました。私たちの理念は『希望する在宅生活を安心して送れるように支援します』であり、それに基づき14年間活動してきました。全国の学生や研修医を受け入れ在宅医療の教育、食べることを諦めない食支援（管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士の3職種による介入）、会いたい人に行きたい場所に連れていく看護師同行旅行支援、他人との関わりを持ち続けるための音楽療法など、いまま様々な活動を行っています。

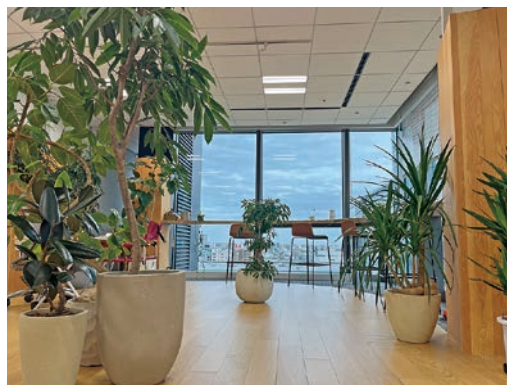
2022年5月に名古屋拠点「総合在宅医療クリニック名駅」をグローバルゲートに新規オープン。現在名古屋拠点は3人の医師で活動、2022年実績では年間82名：成人は65名（うち独居8名）、小児7名（うち小児がん2名）をご紹介いただき、42名（がん34名、非がん8名）をご自宅でお看取りさせていただきました。またあわせて新型コロナウイルスに罹患した患者様も24名訪問させていただきました。

在宅医療は年齢や病名は関係ありませんが、通院がひとりでは困難な方に限定されています。つまり私たちの診させていただく患者様は重い病気や複数の障害を持っている方も多くいらっしゃいます。

しかし、病気や障害があることは不幸なことでしょうか？答えはNoです。確かに病気や障害は不便ではありますが、しあわせになれないわけではないと考えています。病気によっては時間も限られているかもしれない、それでもできることはまだまだたくさんあることを私たちは知っています。

安心できる医療はもちろんのこと、希望する場所でやりたいことを叶えられる手伝いができるように、少しでもおせっかいも提供しています。患者様とご家族の笑顔の写真もたくさん撮らせていただいています。桜が見たいという寝たきりの方と一緒に公園に花見に行きました。家でとろみをつけたビールで乾杯したり、口腔ケア用スポンジでコーヒーも飲んでもらいました。

人それぞれの希望があります。しあわせにも様々な形があります。私たちは多職種のみなさんと共に、その希望に応えたいと思っています。しあわせを叶えるお手伝いをしたいと思っています。これからも患者様そしてご家族が、希望する在宅生活を安心して送れるように支援していきます。



事務所内装



院長  
市橋 亮一



医師  
成瀬 佳子

#### 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック名駅

院 長：市橋亮一

所 在 地：〒453-6108  
名古屋市 中村区 平池町四丁目60番地12  
グローバルゲート8階

電 話：052-526-7832

診療時間：平日9:00～17:00

訪問診療：24時間365日対応

お気軽にお問い合わせください。

URL：https://meieki.sogo-zaitaku.jp

# 外来診療担当表

令和5年7月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内 科 (2階)	消化器内科	1診	平嶋	平嶋	島田	島田	恒川
		2診	齋藤	村山	村山	浦田	宇仁田
		3診	浦田	齋藤	近藤高	藤田(1・3・5週) 田中(2・4週)	交代制(初診)
		4診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
	呼吸器内科	4診					椎葉
		5診	佐野	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	石井 (初診)	沖
		6診	鳥居厚(午前) 小暮(午後)	山田有(午前) 篠原(午後)	小暮(午前) 椎葉(初診)	北川	小暮(午前) 丹羽(午後)
		7診	沖/ 篠原(初診)	丹羽英/ 佐野(初診)	丹羽英		山田有/ 鳥居厚(初診)
	循環器内科	8診			ペースメーカー (2・4週)		ペースメーカー (1・3週)
		8診			ペースメーカー (2・4週)		ペースメーカー (1・3週)
		9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	細野
		10診	今井	上村	山下	富田	宮原
	糖尿病・ 内分泌内科	11診	田ヶ原	早川	山田高	山田高	森
		12診				フットケア (2週・午後)	
		13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)
14診		丹羽靖 (初診・再診)	丹羽靖 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	杉浦 (初診・再診)	
膠原病内科 リウマチ科	15診	杉浦 (初診・再診)	山田努 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	山田努 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	
	8診				水谷有 (初診)	杉山(初診) (1・3週・午後以外)	
	12診	小嶋 (初診)	初診枠なし	大島 (初診)	予約のみ (3週・午後)	杉山(初診) (1・3週・午後)	
	17診	片山(午前) 高野(午後)	杉山(午前) 高野(午後)予約のみ	梅村(午前) 平野(午後)	大島	片山(代診)(午前) 小嶋(午後)	
腎臓内科	18・19診	長谷川(午後) ⑩	長谷川(午後) ⑩	高野⑩・ 水谷有⑩	長谷川(午後) ⑩	梅村⑩	
	18診	交代制(初診) 松本(午後・再診)	交代制(初診)	—	交代制(初診)	—	
	19診	浅野 (午前・再診)	中村(再診)	—	龍華(再診)	—	
	20診	小林	瀧田	梶田橋	原田	齋藤	
脳神経内科	21診	武田	武田	交代制	曾根(もの忘れ外来 連携予約のみ)	龍見	
	22診	梶田橋(初診)	齋藤(初診)	龍見(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)	
	25診	脳波・かんセンター (岡田)	岡田	脳波・かんセンター (小林)	岡田	睡眠センター (予約のみ)(岡田)	
	25診						

診療科		月	火	水	木	金
皮膚科 (3階)	1診	江畑	伊藤	伊藤	清水	伊藤
	2診	池谷	池谷	竹原	大野	池谷
	3診	日高	日高	江畑	日高	江畑
	4診	—	—	—	竹原	—

小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	田中 (初診・一般)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)			
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)
		4診	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)
	午後	1診	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	田中 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児外科)月2回 交代制(一般)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウセリング)	竹中純 (神経)			菊井/後藤雅/ 加藤方 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)	交代制 (一般)		前田 (長期フォロー)	高橋 (カウセリング)
		4診	後藤雅 (予防接種) 木村 (内分泌)月2回	後藤雅 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)

診療科	月	火	水	木	金	
遺伝(2階)	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合
遠伝(3階) カウセリング	看護外来	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合

※遠伝診療科及び遠伝カウセリングは完全予約制です。※カウセリング予約枠：月曜日13(13:00-14:00)、木曜日23(13:00-14:00、15:00-16:00)

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診(初診)	加藤健・中田	寺西・神本	森永・神本	竹内佑	加藤健・神本
	2診	森永・神本	森永	加藤健	中田 横井 (再診13:30-15:30)	中田
	3診	寺西	竹内佑	竹内佑	加藤健	寺西(1・3・5週) 森永(2・4週)
めまい・耳鳴り・難聴		中田(めまい) 加藤(耳鳴り・難聴)				

眼 科 (3階)	1診(初診)	河合(1・3・5週) 重(2・4週)	伊藤和(1・3・5週) 服部友(2・4週)	近澤	岡戸	
	2診	岡戸	重(1・3・5週) 河合(2・4週)	伊藤和		
	3診					
	4診		廣瀬		廣瀬	手術日
	5診	服部友(1・3・5週) 近澤(2・4週) 鳥居(午後)	近澤	鳥居良	服部友	
	6診	吉田統		久保田	久保田	

産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西
	2診	稲葉	田中秀	稲葉	交代制	吉田沙

※木曜日の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産褥1ヶ月健診は、金曜日に行います。

泌尿器科 (3階)	初診	鈴木知	交代制	平林	土井	吉野
	再診	吉野	土井	鈴木知	伊藤	岩間
	再診	吉澤	—	岡村		平林

血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	足立
	2診	足立	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	南	安田	小暮あ	平野大	小暮あ
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)	

※LTFU：造血幹細胞移植後外来

専門外来 (3階)	1診	笠原(4週以外) 伊藤公(4週)	小暮あ (12:00まで) 神田(午後)	今橋真 (14:00まで)	横幕	横幕
	3診	小暮あ (14:00まで)	担当医 (1週・3週) 林(2週・4週)	担当医 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋真

歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	渋谷	小田	交代制	成田
	再診	渋谷	小田	渋谷	交代制	小田
	再診	小田	上嶋	上嶋		渋谷
	再診	成田	宇佐美	宇佐美		上嶋
	再診		成田			宇佐美

放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
		加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	放射線 (1階)	X線TV5	午前		消化器	呼吸器	消化器
		X線TV6	午後	耳鼻いんこう科(地下)		耳鼻いんこう科(地下)	
		RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
		超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—
検診	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田		

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	杉山(再診)	加藤(再診)	北川(再診)	杉山(再診)	佐藤(再診)
	2診		小暮(船橋)	佐古(再診)	大脇(再診)	
	初診	北川・大脇	大脇・杉山	杉山・佐藤	佐藤・大脇	加藤・杉山

禁煙外来(2階)	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)
緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②/ 西堀①	船橋①	船橋① 近藤建 (外科外来)	稲田②/ 西堀①	西堀①

内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山 近藤高/ 宇仁田/ 恒川/藤田	島田(当番制)/ 近藤高/ 浦田/宇仁田/ 恒川/藤田	平嶋/齋藤/ 浦田/宇仁田/ 恒川/日比野/ 藤田	近藤高/ 宇仁田/ 齋藤/恒川/ 藤田	島田/平嶋 (当番制)/ 村山/齋藤/ 浦田/近藤高/ 藤田
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—

精神科(2階)	再診1診	—	—	末宗	—	—
	再診2診	—	宮本	—	宮本	宮本

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	交代制	交代制	須崎
	2診	杉山	横山	江口		伊藤真
	3診	安藤遼				
	4診	高橋				

外 科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	服部正 (消化器)	加藤彩 (乳腺)	末永 (肝胆脾)	多代 (一般・肝胆脾)
	2診	村上 (心臓血管・午前/ 亀井 (形成2・4週午後)	鈴木 (一般・肝胆脾)	近藤建 (一般・消化器)	林孝+加藤彩 (乳腺)	林孝 (乳腺)
	3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	田嶋 (一般・消化器)	山家豊 (一般・消化器)	木部 (一般・消化器)
	4診	森田 (乳腺・午後・再診)	児玉 (末梢血管 4週以外・午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)
	5診	山田勝 (3週以外)		竹田伸 (一般・消化器)	森田(乳腺)	
特別診察室						

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。 ※形成外科(13:30~15:30)

整形外科 (1階)	1診	家崎	平良	阿部	杉山	生田
	2診	杉山	阿部	家崎	生田	平良
	3診	—	浅井(リウマチ)	浅井(人工関節)	—	—
	4診	佐藤(人工関節)	服部(リウマチ)	佐藤(リウマチ)	—	服部(リウマチ)
	5診	服部(人工関節)		小嶋(リウマチ)	小嶋	小嶋(リウマチ)
	6診					風間(2週)

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時  
◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)  
◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。